

令和2年 第2回 肝付町議会一般質問

順位	質問者	答弁者	用件(要旨)
1	宮後 竜一	町 長 町 長	<p>○防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時、避難所等の新型コロナウイルス感染予防対策は。 ・災害を未然に防ぐことについて町長の考えを伺いたい。 ・牧川溪流の浚渫はどう検討されているか。 <p>○定住促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響下で、地方への移住を考える方々が出てきている。改めて定住促進の強化を図るべきではないか。 ・若者(子育て世代)定住促進住宅について。
2	進藤 鈴子	町 長 町 長	<p>○新型コロナウイルス対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別定額給付金申請書の配布の手段は他になかったか。上記に関して防災無線のアナウンスが高齢者に理解しにくい。 ・自粛体制が長引き町民に早急な生活支援が必要である。上記に関してプレミアム商品券発行、水道基本料金の免除等や、ひとり親世帯の大学生等を継続可能にする支援の考えはないか。 ・コロナ対応で住民も精神的に参っている。定額給付金10万円+αや他自治体が行っているようなサプライズ花火等の考えはないか。 ・小学生対象の支援金3500円を振り込みにされたが、今後商品券ではどうか。 ・楠隼校との連携も十分にされ、万全を期したマニュアルも作成されたか。 ・新型コロナウイルス第2波を想定した対策はあるのか。 <p>○税金等振込用紙の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領収証書欄がとて小小さく特に高齢者においては、大変見づらい。

3	有留 智哉	町 長	<p>○新型コロナウイルス感染症における肝付町の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症における肝付町の状況。 ・新型コロナウイルス感染症における今後の対応。 ・町立小中学校の状況。 ・町立小中学校の今後の対応。 夏休みの短縮等はあるのか。 ・自然災害や感染症対応業務継続計画の策定。 ・国の様々な支援対策等の該当者数とその対応。 ・県の支援対策等の該当者数とその対応。 ・町としての国・県の支援対策に対して関わり方は。 ・町独自の支援策は。 予算規模と財源は。 ・令和2年度肝付町予算や業務に影響は。 ・今年度計画をしている事業や業務は全て出来るのか。 ・現在までに予定していたが執行出来なかった事業とその予算。 ・事業仕分けをすべきでは。 予算や業務の見直しを。 関係者や関係団体との協議を。 ・予算の削減や組替え等行うべきでは。 ・新型コロナウイルス対策を考えての業務は。
4	富永 洋一	町 長 町 長	<p>○温泉ドームの現況を問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5項目確認はその後どうなっているか。 ・住民に対して確認に至った経緯について説明すべきと考えるが。 ・営業はいつからか住民に対して説明がなされていない。 <p>○人事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町立病院の事務長が会計年度職員となったが何故か。 ・准看護学校の事務局長について今まで教育総務課長の兼務となっていたが。 その必要性は。(行政評価) 財政の健全化から見てどう考えるか。(義務費の伸びが著しい中で)
5	柳 一夫	町 長 町 長	<p>○新型コロナウイルス対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅雨、台風、豪雨とある。昨年の各避難所の状況はどうだったか。 ・新型コロナウイルス対策で3密と言われるようになった。避難所の確保は大丈夫か。緊急時、県立大隅広域公園大隅アリーナへ相談は出来ないか。 <p>○防災対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国で梅雨前線や台風、豪雨等で自然災害が多い。シラス対策事業費は主に何に使われるか。 ・農地保全事業やかんがい排水事業の予算を治山、崩落防止等へ振り向けることは出来ないか。 ・一個人に税金を投入することは出来ないが、危険が差し迫るところがある。地層がはっきり見え、水分を含むと大きく崩れる。災害未然防止処置は出来ないか。 ・平成28年の特殊土壌地帯対策は国土審議会の意見を踏まえると実施すべきではないか。

6	木村 實馬	町 長	<p>○岸良小中教育一貫校の現状と子育て世代の移住促進対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸良小中教育一貫校の新一年生不在の現状を踏まえ解決策を。 ・移住促進を進めるには、住居の確保が重要であるが対策は。 ・新型コロナウイルス感染症終息後は首都圏から地方への安心安全を求めた移住が進むと考えられる。就労の斡旋、住居や家庭菜園など出来る受け皿の整備が急がれる。 ・新一年生がいない現状の中、家族留学やお試し住宅等に対応するため岸良地区公共施設あり方検討委員会の答申にもある、岸良地区公共施設再編の中で旧小学校跡地活用の整備に組み込めないか。
7	中原 稔	町 長	<p>○各避難所の感染予防対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各避難所の新型コロナウイルス感染症予防対策について。 自然災害が発生する時期が到来している。避難者の感染予防対策は整備されているか。 仕切り板・検温器・マスク・消毒液等 ・避難所のスペース確保について 3密に対応するスペースの確保は充分か。
8	前田 美春	町 長	<p>○特定健診・特定保健指導実施率の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な町民をつくるための具体的な取り組みについて。 各種予防ワクチン、運動教室、生活改善の啓発について。 ・各種検診や保健指導について。 ・肝付町民の病気の発生状況について。 メタボリックシンドローム、生活習慣病の状況は。 ・メタボリックシンドローム、生活習慣病の発生防止、医療費の抑制についての対策は。 ・特定健診未受診者対策について。 ・JAの巡回健診、人間ドック助成等の連携について。